

平成27年度（2015年度）セタシジミ産卵前肥満状況

石崎大介・磯田能年

1. 目的

産卵期直前のセタシジミの肥満度（軟体部乾燥重量／満水全重量×100）は産卵量の指標であり、資源変動の重要な要素となっている。そこで琵琶湖北湖一円の漁場においてセタシジミの肥満度を調査した。

2. 方法

2015年5月31、6月1日に琵琶湖北湖の主要7漁場（沖島南西・沖島東・沖島西・松原・磯・長浜・今西）を含む17漁場において、実際のシジミ漁業で用いられる漁船および貝桁網でセタシジミを採捕した。各漁場の調査場所は過年度のGPS記録にもとづき同一場所とした。漁場ごとに殻長18mm以上の個体を無作為に12個体抽出し（採捕数が12未満の水域は全個体）、全重量を0.1mgの単位まで測定した後、軟体部を取り出して乾燥させ、軟体部の乾燥重量を0.1mgの単位まで測定し、

肥満度を計算した。

3. 結果

各漁場の肥満度は高島漁場を除き3%以上であり、琵琶湖の西部や北部で低く、東岸で高い傾向は例年と同様であった（表1）。主要漁場の平均肥満度は3.8%で2014年の4.9%から低下し、漁場別にみても全ての漁場で低下していた（図1）。しかしながら、比較的高い水準ではある。セタシジミ資源概況調査で報告しているとおり、今年のセタシジミ生息密度の低下は2012年の低肥満度による斃死と低調な再生産が影響している可能性もあり、今後の資源概況調査と肥満度の継続的な調査が必要である。

表1. 各漁場の肥満度

地点	肥満度(%)
枚	3.58
菖蒲※	4.42
沖島南西	4.08
沖島西	4.06
沖島東	3.28
新海	3.33
石寺	3.12
松原	3.82
磯	3.63
長浜	4.20
今西	3.36
海津	3.30
針江	3.01
鴨川	3.24
高島	2.95
近江舞子	3.09
大浦	3.92

※セタシジミ以外のシジミの肥満度

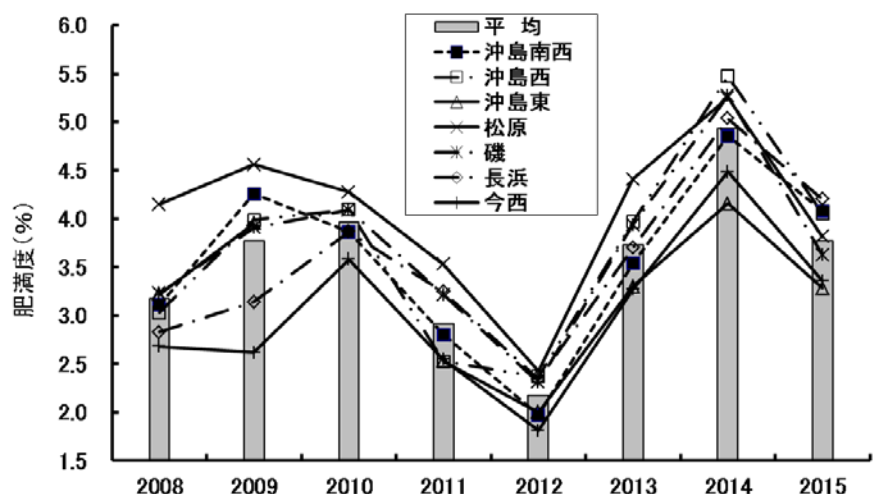


図1. 各主要漁場の肥満度と平均肥満度